

## 岐阜県職員倫理憲章 産業デジタル推進課実行計画

平成18年7月に発覚した不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すために平成18年12月28日に制定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践していくため、下記のとおり産業デジタル推進課実行計画を定めます。

令和5年4月1日

### 1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・ 法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・ 不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

#### 【取組事項】

- 岐阜県職員倫理規程に基づき、県民の疑惑や不信を招くような行為は徹底して防止します。
- 過去の不祥事案を題材に、職場研修を実施し、公務、私生活を問わず、「県民の信頼を裏切る行為」に対しては、厳しい処分が課されている現実について、職員の認識を深めます。
- 通勤途上や出張時などの勤務中はもちろん、勤務時間外においても交通法規を遵守し、無事故・無違反を徹底します。
- 常に県職員としての職業倫理の視点を持って行動します。

### 2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・ 経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を上げるよう努めます。
- ・ 前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

#### 【取組事項】

- 事務用品の在庫管理徹底や再利用、コピー機の両面利用率向上に努めるなど経費削減を徹底し、事務用品購入経費及びコピー使用枚数の削減に努めます。
- 職員の時間管理意識の徹底や管理調整監などの管理職員による組織マネジメント、職場内での工夫による業務の効率化等により、時間外勤務の縮減に努めます。
- 事業の実施にあたっては、常に県民目線で必要性や費用対効果等を検証していきます。

### 3 県職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・ 専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- ・ 法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧に業務を進めます。

#### 【取組事項】

- IT技術や産業におけるDXの動向・課題、国や他県の動きについて、新聞や専門紙、インターネット等から情報収集を積極的に行い、毎日収集した情報を職員全員で共有を図ります。
- 全ての職員が業務に関連した研修会等には常に積極的に参加し、専門的な能力・知識を習得するなど、自己研鑽に努めます。
- 業務に関連する他県の先進事例や新たな法制度などについて、職場内研修を実施して、職員一人ひとりのレベルアップを図ります。
- 事業の執行にあたっては、根拠法令等を明らかにし、必要に応じて説明を加えるなど、アカウンタビリティ（説明責任）の向上に努めます。

#### 4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・ マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・ どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

##### 【取組事項】

- 不測の事態発生時に迅速な情報伝達が図られるよう、所属内の緊急連絡網を整備し、半年ごとに情報伝達訓練を行います。
- 常に細心の注意を払い、いち早く不祥事等の危機を察知し、上司への迅速な状況報告と適切な対応により問題発生を未然に防止します。
- 県有施設における不測の事態発生時に迅速な対応が図れるよう、各施設管理者と連携し、適切かつ迅速な対応ができる危機管理体制の整備に努めます。
- 新型コロナウイルス感染症リスクが身近に迫っていることを常に意識し、自身の健康状態の管理をはじめ、日頃から必要な感染防止対策の徹底に努めます。

#### 5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- ・ 正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- ・ 徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

##### 【取組事項】

- 問題発生時には、緊急連絡網等の活用により30分以内で全職員への情報伝達を完了し、情報収集・分析や県民への情報提供を速やかに行います。
- 問題が発生した原因の究明や、再発防止策の構築に当たっては、多面的・多角的に検討を行うため、課内に検討チームを立ち上げて対応します。

#### 6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・ 自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・ 不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

##### 【取組事項】

- 係長会議や担当内の打合わせ等を適宜実施し、業務の進捗状況などについて情報共有を行うとともに、職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて意見交換を行います。
- 管理職員は、定期的な職員面談を実施し、職員の日頃の考えや悩み等の把握に努めるとともに、気軽に議論・意見具申できる雰囲気づくりに努めます。
- 良い情報はもとより、不都合な情報こそ上司への報告を速やかに行います。

#### 7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・ 地域での活動に積極的に参加します。
- ・ 環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

##### 【取組事項】

- 各職員が一つ以上の地域活動等（地元の消防団や自治会等の地域活動、ボランティア活動等）に参加するよう努め、その活動を通して得た「ひとりの県民としての目線」を日々の業務に活かします。
- 早く家庭に帰る日やノー残業デーの取組みを積極的に進め、課員が家族との団欒、地域活動への参加など、身近な情報・課題を得やすい環境づくりを行います。

**8 県民との対話を大切に、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組みます。**

- ・ 県政全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- ・ 積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えをお聴きし、政策・施策に活かします。

**【取組事項】**

- ホームページやマスコミなどのあらゆる広報媒体を活用し、デジタル産業支援やIT拠点エリア関連企業支援などの取組情報を適時・的確に提供します。
- 業界団体関係者等との面談や企業訪問など、あらゆる機会を利用して、県内中小企業者の生の声（意見や提言）を聴取し、政策立案・予算編成等につなげていきます。
- 県民の皆様の苦情や相談については、職員が見落としている視点や、意識のギャップを気付かせてくれる貴重な情報であることから、真摯に耳を傾け、事業の見直しや勤務態度の改善等に役立てます。